

わたしの
ハマライフ 豊かな自然に
囲まれた生活

～ 小林さん ～

【埼玉県→浜松市北区】



今月は、埼玉県から浜松市の中山間地域に移住して、浜松での暮らし「ハマライフ」を送っている小林さんにインタビューしました。浜松市では、天竜区全域と北区引佐町の北部(旧鎮玉村および旧伊平村)を中山間地域と定めています。

—— 移住のきっかけは？

大学で農村の景観などを研究していた、研究論文のために北区引佐町の久留女木の棚田におよそ3年間通っていました。研究をはじめ、研究以外のこともお世話になり、この地域で生活してみたいと思うようになりました。ちょうどその頃に浜松山里いきいき応援隊(通称:山いき隊)の引佐地域での募集があり、応募し隊員となったことが移住のきっかけです。山いき隊の任期中には、引佐地域に住む人に風習や方言、昔ながらの生活の知恵やすべなどを聞き取り調査し、「山の新しい」とこまじゅうや「いなさカルタ」などを作成して地域の情報を発信していました。

—— 引佐地域の印象は？

移住して7年がたちましたが、引佐は多様な風景のある町だと思っています。

現在は個人事業主としてカメラマンの仕事をしています。さまざまな仕事の依頼を受けています。浜松の中山間地域にはすごくいい撮影場所がたくさんあり、主にドローンを使ってお茶畑や棚田などの農業景観

を撮影することが多いです。山いき隊の任期中にお世話になった人たちなど、地域の人が撮影にとっても協力的で助かっています。

—— 移住してよかったことは？

移住後に結婚し、今は子供が2人いますが、子供のはしゃぎ声を気にすることなく自由に遊ばせてあげることができています。市街地だと子供の大きな声などを気にしてしまうこともあると思いますが、今住んでいるところは自然の中に家が建っていないので、そういった心配がないのは精神的にとっても楽です。

—— 移住して苦労したことや驚いたことは？

移住して苦労したことはありません。生き物がたくさんいる環境が好きで田舎暮らしを選びました。驚いたことは、雨の日になると家の中にサワガニが入ってくることもあることです。夜、畳の部屋で「ガサガサ」と音がするので「何かな？」と思って見てみると、サワガニでした。どうやって中に入ってくるのか分からないですが、びっくりしましたし、面白いなと思いました。

—— 中山間地域への移住を検討している人へメッセージをお願いします

移住先の地域のことを何も知らないまま移住してしまうと、なじめずに孤立してしまうということにもな

りかねません。インターネットで検索するだけでは分からない決まりごとなどを知っておくことが大切だと思います。

浜松には、移住コーディネーターがいますし、移住を考えている人のサポートをしている自治会(Wellcome集落)もあります。私が移住したきっかけとなった山いき隊制度も含め、それらをつまく活用して、地域の人と実際に会って話をしながら移住を検討するのがいいと思います。

